

Music Essays by "MARO" — Fumiori Shinozaki — First Concertmaster at NHKSO



おむによし音楽コンクール審査員から、右から二人目がアドバイザーを務めるMARO



今年からMAROが審査委員長を務めるかながわ音楽コンクールからの特別リポート

コンクール考——何のために受けるか

新人演奏家がコンクールを受け、観客やそこに居並ぶ大家の審査員、国際的マネジャーに認められデビューする。演奏家にとって、もっとも一般的なサクセスストーリーです。いま残っているコンクールで最も古い歴史を持つシヨパン国際ピアノ・コンクールでも、開催毎にスターが生み出されています。今回はそのコンクールのことについてMAROが語ります。

さまざまにコンクール

清々とした夏の空に、大飽に向かつて伸びる向日葵が美しい季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

昨年の連載の中で「音楽は言語や宗教の壁がなく、ジェネレーションギャップや人種も関係なしに、瞬時に人と喜怒哀楽のコミュニケーションを図ることができる最高のツール」と書きました。ところで、皆さんは音楽に勝ち負けはあると思われませんか？ 今号はコンクールについての話です。

コンクールの歴史は、17世紀イタリアで開かれたオリシビツカまで遡ります。オリシビツカ競技と併催して芸術競技が行われていた。古くよりシマでは、美しいものは音でもと捉える発想があり、スポーツの才能があるだけではなく、品性と魅力も備えている人物が理想とされ、また、そのために、オリシビツカ競技以外にも芸術分野（彫刻、絵画、音楽、文学など）でも競技が行われていたようです。現在の世界3大コンクールを紹介すると、シヨパン国際ピアノ・コンクールは1928年に開催、1949年に再開、中断を免れなくされ、1957年に再開しました。1937年、第1回ワグネル国際

順位よりも大事なこと

コンクールの課題曲はバロック時代から近現代の作曲家まで幅広く発表されています。例えばヴァイオリンでは、J.S.バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、パガニーニ、メンデルスゾーン、バルトーク、プロコフィエフ等のように、多彩なプロクラミンクになっています。それらの課題曲の中には、演奏家としての資質を問われる演奏曲目が用意されており、得意不得意関係なくこなせる実力が必要で、故に、それらのプログラミ

連載

MAROの

「つれづれなるままに」

文 篠崎史紀
Zakurumi Shinozaki

NHK交響楽団第1コンサートマスター 篠崎史紀の音楽雑誌



第19回

篠崎史紀(しのざき ふみのり)

愛称「まる」。NHK交響楽団第1コンサートマスター。1963年、北九州市出身。1981年、ウイーン国立音楽院に入学。翌年、ウイーンにてヨーロッパデビューを飾り、その後ヨーロッパを中心に活動をする。88年に帰国後、群馬県を経て、97年、NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。以来、NHKの顔として活躍中。96年より東京ジュニアオーケストラソサエティを設立。WHO評議会委員も務めている。1980年北九州市市民文化員を賞賛。2001年福岡県文化賞受賞。2004年より群馬王子ホールにて「マロワールド」を開催している。現在、東京藝術大学、桐朋学園大学、昭和音楽大学で後進の指導も行っている。2014年、第34回有馬賞を受賞した。
<https://www.facebook.com/maro118/>

分がコンクールを受けると決めて、プログラムを組んだり、そのプログラムをこなしたり、そこに対して自分がやってみたり「努力」のほうが大仕事なんです。その努力から自分が成長し、事や待たぬのは、すべて自分のスキルを上げるための効果的な手段と考えています。またコ

ンクールは、自分と同じような考えを持ち、かつ同年代の人が集まる場でもあります。勝ち負けにとらわれず、コンクール会場であまり人と会話しない方がいますが、自分と同じものを目指している参加者とコミュニケーションを取って、音楽の楽しさや難しさなどを共有する場所ではないかと私は思っています。音楽を愛する仲間が集りあふのですから。

今月の1枚

さて、今月の1枚です。
ジョルジュ・エネスコ (1881—1959)
55、シヨノン (詩曲) Op.25、サンフォルト・ジュリエット (D)、1929年録音 (8歳での録音、仏 Columbia盤)
エネスコはルーマニア出身のヴァイオリニスト、作曲家、ピアニスト兼指揮者、教育者です。4歳でヴァイオリンを始め、5歳で初作曲、7歳でウィーン音楽院 (ヴァイオリンは、ヨーゼフ・ヘルメスベルガーに師事) に学び、11歳でメンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」でウィーン・デビュイ、ピエール・マルシッタン、作曲をマスケとフォーレに師事し、トロンボーン、ヴァイオリンの両音楽院を優秀な成績で卒業したのは、フリッツ・クライスラーとエネスコのみです。ジャック・ティボー

を加えた20世紀前半の3大ヴァイオリニストのひとりには、現在、友情は半世紀以上続いたようです。後に大先輩イザイからこの3人へ「無伴奏ヴァイオリン・ソナタ」が贈呈されています。(第2番「ナイター」、第3番「エネスコ」、第4番「クライスラー」)

エネスコはパリで、当時ヨーロッパ一だったフランス文化を十分に吸収しつつ、しかし完全に同化せずルーマニア人としての矜持を常に保っていたエネスコ1民族の情愛を内包し、ウィーン、パリの洗練とアカデミズムを身につけていました。巨匠カール・フレッシュは、エネスコのヴァイオリン演奏を「シバシーの向こう見ずさと洗練された芸術が結合し美に魅力的である」と評しました。教育者としては9歳の神童メンツェイリを育て、同僚のピアニスト、デニス・リパバティも幼年期から指導してきました。エネスコの門下にはアルテュール

《今月の1枚》



ジョルジュ・エネスコ (1881—1959)
シヨノン (詩曲)
共演: サンフォルト・ジュリエット (D)
[1929年録音 (8歳での録音)、仏 Columbia盤]

篠崎史紀 公演情報

フェスタサマーミュージックKAWASAKI 2018
NHK交響楽団
(日時) 8月4日 16時 (会場) ミューザ川崎シンフォニーホール (指揮) 熊倉清 (共演) 上野耕平 (sax)、加藤綾子 (ピッコラー・ナレーション) (曲目) サラ・ソニア・リリアムス (スティーヴン・ウォーズ) から、アリエン (青少年の管弦楽入門)、ミヨ (スカム・ユン)、シヨスタコヴィチ [交響曲第10番]、メンション・トランソラソサエティ (交響曲第10番) から (問合せ) N響ガイド03-5793-8161

N響ほっとコンサート
(日時) 8月5日 15時 (会場) NHKホール (指揮) 熊倉清 (共演) 上野耕平 (sax)、加藤綾子 (ピッコラー・ナレーション) (曲目) サラ・ソニア・リリアムス (スティーヴン・ウォーズ) から、アリエン (青少年の管弦楽入門)、ミヨ (スカム・ユン)、シヨスタコヴィチ [交響曲第10番]、メンション・トランソラソサエティ (交響曲第10番) から (問合せ) N響ガイド03-5793-8161

NHKカルチャー青山教室 開校
(日時) 8月6日 (会場) NHKカルチャー青山教室 (内容) 初ららるる演奏家たち—女性演奏家 (問合せ) NHKカルチャー青山教室03-3475-1151

2018九州国楽音楽祭
(日程) 8月12日 (会場) 響ホール (内容) 未定 (問合せ) 北九州国際音楽祭実行委員会事務局093-663-6567
東京ジュニアオーケストラソサエティ
第19回定期演奏会
(日時) 8月19日 14時 (会場) 文京シビックホール (指揮) 広上洋一 (共演) 依田賢司 (lg) (曲目) ウェーバー「魔術の行方」序曲、同「ファゴット協奏曲」、プーセル「交響曲第2番」(問合せ) 東京ジュニアオーケストラソサエティ事務局03-5790-9759

篠崎史紀 (vn) × 入江一雄 (p) × 中水龍二 (vc)
トリオピアノコンサート
(日時) 8月31日 19時 (会場) 浦安音楽ホール (曲目) ハイドン「ピアノ三重奏曲第25番 (ジプシー・トリオ)」、メンデルスゾーン「ピアノ三重奏曲第1番」、ベートーヴェン「ピアノ三重奏曲第7番 (大公)」(問合せ) 浦安音楽ホール047-382-3035